

第1回地方創生SDGs金融表彰 評価項目と評価の視点（例示）

◆必須項目（汎用性・官民協働・実効性・持続性・透明性）、及び加点項目（独自性・成果・影響）の8項目から、総合的に評価する。

評価項目	評価の視点（例示）
汎用性 (モデル性)	事例・スキーム等が具体的に明記され、他の地方公共団体等及び地域金融機関等で参考事例となり、横展開が可能であるか
	A ・支援スキームが明記されており、地域を問わず展開が可能であり、普遍的である。
	B ・支援スキームが明記されており、他地域で水平的に展開が可能である。
	C ・支援スキームが明記されており、その内容が他の地域において、ある程度、実践が可能である。
	D ・支援スキームの内容が不明瞭である。または、個別要因が大きく、他の地域においての実践が難しい。
官民協働	地方公共団体等及び地域金融機関等との連携体制が構築され、達成すべき目標や具体的な取組方針等が共有され、協働しているか
	A ・支援スキームを通じた達成目標等の共有に加えて、進捗状況についても双方で確認し、必要に応じて見直しを行うなど、協働した運営が出来ている。
	B ・地方公共団体等と地域金融機関等との間で、地域課題の解決に向けた目標、取組方針などが共有された上で、支援スキームが構築されている。
	C ・地方公共団体等と地域金融機関等が協働する支援スキームが構築されている。
	D ・地方公共団体等と地域金融機関等が協働する支援スキームが構築されていない、または、構築途中である。
実効性	実効性の高い支援スキームを構築しているか
	A ・支援スキームの実施にあたっての目標や行動計画が定まっており、双方でその具体的な実行プロセスが確立されている。加えて、実行可能な役割分担とリソースも担保されている。
	B ・支援スキームの実施にあたっての目標や行動計画が定まっており、達成に向けて、双方で具体的なプロセスが確立されている。
	C ・支援スキームの実施にあたっての目標や行動計画が定まっている。
	D ・支援スキームの実施にあたっての目標や行動計画が定まっていない。
持続性	地方公共団体等の総合計画や地域金融機関等の中期経営計画等に位置付けられ、持続可能な支援スキームであるかどうか、また地域への継続的な波及効果が見込まれるか
	A ・双方が「複数年度にわたるコミットメント」として公表しているだけでなく、地域への継続的な波及効果も期待できる。
	B ・地方公共団体の総合計画や金融機関の中期計画等で、「複数年度にわたるコミットメント」として公表、位置づけられている。
	C ・支援スキームがある程度、持続可能であると判断できる。
	D ・支援スキームが持続可能であることが確認できない、または単発での取組となっている。
透明性	取組の状況や成果を対外的に公表しているか
	A ・支援スキームに対する成果や影響が開示されており、何等かの形で第三者が評価、モニタリング等の情報開示を実施している。
	B ・支援スキームに対する成果や影響が開示されている。
	C ・支援スキームに関する情報をホームページ等で公表している。
	D ・支援スキームに関して、公表情報は無い。（ホームページ等がない）
独自性	独創的な視点・斬新な支援スキームを構築しているか
	A ・地域の特性に合わせた工夫が見られ、他に類似する例がない先進的で、独創的な取り組みである。
	B ・地域の特性に合わせた工夫が見られ、部分的には類似する例もあるが、先進的な取り組みである。
	C ・地域の特性に合わせた工夫がある程度見られる。
	D ・特段の工夫した点や先進的な点が見られない。
成果	取組によって創出された、「成果（アウトプット）」、または目標が設定されているか
	A ・成果（アウトプット） 目標に対する支援スキームを通じて、目標を上回る大きな成果が出ている。（支援スキームの地域の規模や特性等を考慮した水平的視点）
	B ・成果（アウトプット） 目標に対する支援スキームを通じて、目標程度の成果が出ている。（支援スキームの地域の規模や特性等を考慮した水平的視点）
	C ・成果（アウトプット） は確認できないが、地域の将来像に対する成果（アウトプット） 目標設定を行っている。
	D ・成果（アウトプット） は確認できず、成果（アウトプット） 目標設定も行っていない。
影響	「成果（アウトプット）」によって創出された、地域の経済、社会、環境へ与えた／与える影響・変化（アウトカム）、または目標が設定されているか
	A ・影響に関する目標設定を行い、成果（アウトプット） によって創出された影響・変化（アウトカム） を測定するだけでなく、進捗管理も行い、更なるインパクト創出を行っている。
	B ・影響に関する目標設定を行い、成果（アウトプット） によって創出された影響・変化（アウトカム） を測定し、確認できている。
	C ・成果（アウトプット） によって創出された影響・変化（アウトカム） は確認できないが、目標設定を行っている。
	D ・成果（アウトプット） によって創出された影響・変化（アウトカム） は確認できず、目標設定も行っていない。